

(For School teacher)

Form 5

平成 23 年 3 月 1 日

サイエンス・ダイアログ事業 実施報告書

1. 参加機関(学校名)・担当者: 山梨県立都留高等学校

2. 参加研究者: Dr. Effah Antwi

3. 実施日時: 平成 23 年 2 月 3 日 (金) 11:10 ~ 12:00

4. 参加生徒: 2 年生 28 人、 1 年生 1 人、 3 年生 1 人 (合計 30 人)
備考: SSH クラス

5. 講演題目: (英文) 『Impact of Mining on habitat』

(和文)

6. 講演概要:

SSH 研究発表会の中での研究授業として行われました。通常 2 時間の講演時間を 50 分でお願いしたため、講師の先生も苦勞されていたようでしたが、Antwi 博士のスピーチはとても感動的で生徒もそのスピーチの素晴らしさに圧倒されたようでした。人をひきつけるスピーチの方法を学んだと思います。講演の内容は Antwi 博士が留学されていたドイツは環境学がとても進んでいて、一度破壊された森林を見事に復活させたことを研究されていました。環境問題は日本人にとってとても身近なトピックなので生徒達も興味を持って聞くことができました。

7. 使用言語: 英語

8. 講演形式:

(1) 講演時間 50 分 質疑応答時間 _____ 分

(2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、プレ実験など)

プロジェクター使用

(3) 通訳 (例: 受入研究者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)

協力者 職・氏名

教諭 芦沢 友也

(4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)

資料、英単語テスト、

9. 支給経費: 交通費 宿泊費 謝金

10. その他特筆すべき事